

を否決!

クトに異議が続出

12月定例会は12月7日から21日までの15日間の会期で開きました。

※**未来づくり10年プラン(総合計画)**の基本構想は重点プロジェクトの考え方などで否決となりました。(関連6ページ) そのほかの条例、補正予算など16議案は原案どおり可決しました。

議員発議では、今年3月に制定した議会基本条例を基に議会の見直しをすべく、議会改革調査特別委員会を設置しました。

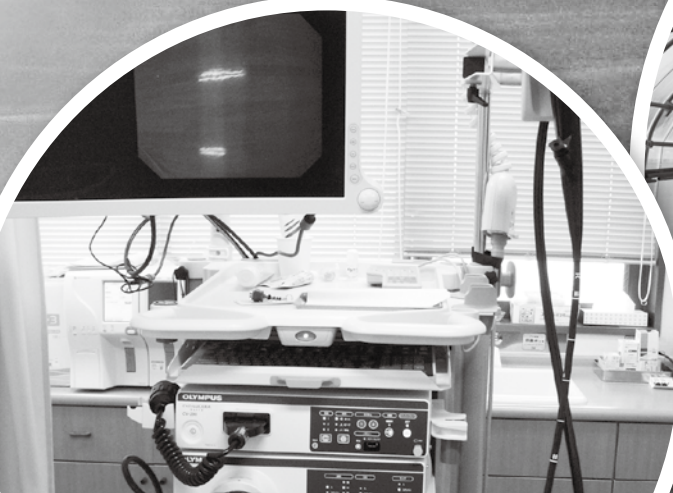
また、一般質問は13人が町長、教育委員長、代表監査委員に行政事務についてたずねました。

※未来づくり10年プラン(総合計画)は今後10年間の町の方向性を示すものです。

この度の総合計画は、

- ①公募によって町民が参加した大山未来会議が素案を策定
- ②各種団体の実務者と役場管理職で構成する策定委員会で磨き上げ
- ③有識者で構成する総合計画審議会が町長の諮問に答え議会に提案されました。

主な新規事業



検診センターとして機器の導入

大山診療所で人間ドックができるように
リースで設備を拡充

40万円



低コストハウスの普及

鳥取発のハウスで野菜などの生産拡大をはかる

2367万円